

県内の遺跡6 ^{ちょう じゃ が はら}
長者ヶ原遺跡

国指定 昭和46年5月27日（追加指定：昭和60年5月14日）

所在地 糸魚川市大字一の宮

市街地の南約2kmの丘陵に位置するこの遺跡は、今から約3,500～5,000年前に縄文時代中期を中心に栄えた大集落跡です。住居跡、土器や石器といった様々な生活用具をはじめ、近くの川で産出されるヒスイを使った玉や、^{じゃもんがん}蛇紋岩の磨製石斧、これらを作った道具などが数多く発見されています。これらの製品は、遠くのムラへも運ばれていったと考えられ、当時の生活を知る上で貴重な資料です。



長者ヶ原遺跡の出土品

(写真提供：糸魚川市教育委員会)

あとがき

「暑い!」、「雨がほしい!」、連日の猛暑の中で続けられた今年の調査も、秋風の訪れとともに終盤戦に入り、職員は最後の追い込みに頑張っています。清水上遺跡の整理作業も、まとめの時期を迎えようとしています。まだ当分の間は、「暑い!」毎日が続きそうな気配です。(K)

埋文にいがた No.8

発行 財新潟県埋蔵文化財調査事業団
 〒951 新潟市一番堀通町5923番地46
 TEL (025) 223-5642
 FAX (025) 228-1762
 印刷 有限会社 双葉印刷